

木曽森林環境保全ふれあいセンター

これまでの取組(2004年12月～2005年3月)

【2004年12月、2005年1月】

・城山史跡の森において現地調査を実施

冬の足音も日に日に近くなってきた12月14日、当ふれあいセンター、NPO城山史跡の森倶楽部、木曽福島町役場等が合同で城山史跡の森を視察しました。これは、先の木曽森林管理署と城山史跡の森倶楽部との協定調印を受け、平成17年度以降の活動計画等を策定するために実施したものです。

比較的標高の低い城山には、まだ雪の気配もなく、初冬と言うよりは晩秋の雰囲気でした。今回の視察は、黒木ヶ沢沿いを詰めて兎野山三角点へ至るコースを中心に行いましたが、この付近には広葉樹の大径木が多く、林業が盛んで針葉樹の人工林の多い木曽谷にあっては珍しい景色が楽しめる場所です。

また、年が明けた1月12日、城山史跡の森において今後実施する予定の案内標識設置や歩道新設の具体的な箇所を選定するための現地調査を、NPO城山史跡の森倶楽部等と合同で行いました。

年末年始に降った雪のため、現地は12月の視察の時と全く違う様相を呈しており、一行は膝まで積もった雪をかき分けながら山道を一日中歩き回りました。

体力的に辛かったことはさておき、夏場であれば樹木が生い茂り鬱蒼(うっそう)とした林内も、この時期は視界が良好で、鳥や動物も比較的容易に見ることが出来ます。その他にも生々しい肉食動物の捕食の痕跡なども見られ、驚くと同時に生命の営みが肌で感じられました。

この城山の場合、市街地から近く標高差もさほど大きくないので、標識やルートがしっかり整備されてさえいれば手軽に四季折々の自然を楽しむことが出来ることから、NPO等の今後の活動如何によっては、入り込み者数が飛躍的にのびる可能性もあります。これからの活動の重要性をあらためて実感した一日でした。



【2005年3月】

・城山史跡の森倶楽部が打合せを実施

3月2日城山史跡の森倶楽部の主だったメンバーが集まり、平成17年度の活動計画等に関する打合せを実施しました。

史跡の森倶楽部の会長津田さんの挨拶の後、事務局の古幡さんから平成17年度計画等に関する説明が行われました。史跡の森倶楽部では、従来の森林整備活動に加え、自然観察会など年間数回のイベントを計画しており、それらの趣旨が説明され、出席者に了承されました。

これにより、早ければ平成17年4月～5月に初回のイベントが開催されることとなりますが、今後はインストラクターの確保が急務となると考えられます。打合せの最後には、当センターと史跡の森倶楽部が共同で、インストラクター養成のための観察会等を実施することも決められ、平成17年度の城山史跡の森における活動が実質的にスタートを切りました。

